

音声認識で目的地を検索する

F1XD

音声で入力された施設などをクラウド上のデータベースから検索し、「行き先を設定できる」機能です。

準備

- スマートフォンにアプリ「Drive P@ss」をインストールしてください。
- スマートフォンを本機に機器登録してください。(P.132)
- スマートフォンと本機をスマホ連携接続して(P.134)、スマホ連携アプリ選択で「Drive P@ss/CarAV remote」を選んでください。(P.135)
- 音声認識を利用する場合は、スマートフォンと本機をケーブルで接続する必要はありません。
- スマートフォンがロック状態のときは、音声認識を起動できません。スマートフォンのロックを解除してください。(ただし、Androidスマートフォンの場合、Drive P@ssアプリの常時通信設定がONに設定されていると、スマートフォンがロック状態でも音声認識を起動できます。)
- iPodまたはiPhoneをP.118の図のとおり接続すると、そちらでの接続が優先されるため、iPhoneで音声認識を利用する場合は、iPodまたはiPhoneを取り外してください。

1 音声認識を起動する

下記のいずれかの操作で起動できます。

- SOURCEを割り当てたステアリングスイッチを1秒以上押す
- 本体のMENUを1秒以上押す
- ツートップメニュー(P.26)からを選ぶ
- ランチャーメニュー(P.40)から「音声認識」を選ぶ

2 マイクに発声して、音声で操作する

- 効果音が鳴ってから、続けて発声してください。

例:



こんにちは。どちらまで行きますか?

近くのガソリンスタンド

この付近のガソリンスタンドをお調べします。

20件のガソリンスタンドが見つかりました。近い順に

1. ○○石油××SS/2. △△石油××SS/3. □□石油××SS です。

- 検索結果画面(P.153)が表示されます。

3番^{*1}

□□石油××SSを目的地に設定しますか?

はい、一般優先で^{*2}

□□石油××SSを目的地に設定します。一般優先で探索します。

*1 「□□石油××SS」と名称で選択することもできます。

*2 「電話をかける」と発声すると、選択した施設に電話をかけることができます。

お知らせ

- 運転者以外が音声認識をする場合は、スマートフォンのマイクに向かって発声できます。その場合は、
 - 本機をDrive P@ssに切り換えないでください。
 - Drive P@ssアプリのボタンをタッチして、音声認識を利用してください。
 - 詳しくはDrive P@ssアプリの説明書をご覧ください。

いろいろな音声認識(例)

■周辺の施設を検索する

新横浜駅周辺のファミレス

■住所から検索する

神奈川県横浜市都筑区
池辺町4261

■施設の名称から検索する

パナソニックセンター東京

■自宅を検索する

自宅に帰る

- 本機に登録した自宅を検索できます。

■ルート沿いの施設を検索する

ルート沿いのコンビニ

■Drive P@ssの音声認識機能から登録した登録ポイントを検索する

おじいちゃんの家

- Drive P@ssアプリの音声認識機能で登録した文言を発声してください。
- 本機の登録地は検索できません。

■条件を詳細に設定する

横浜で
駐車場のあるイタリアンを
経由地に、一般道優先で

■検索をやりなおす

言い直し

- 番号の選択をやりなおすときは、番号を言いなおしてください。

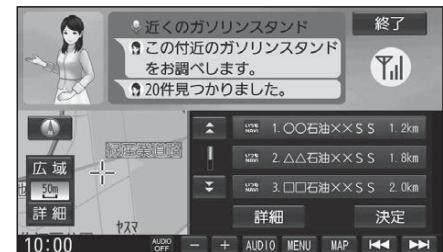
認識率をよくするために

適正な音量で、はっきりと発声してください。

- 声が大きすぎると、枠の色が赤に変化します。
- 声が小さすぎると認識されません。
- 枠が表示されないときは、マイクの接続を確認してください。
- 車の窓を閉めてください。(周囲の雑音による誤認識を防ぐため)
- 同乗者に会話を控えてもらってください。(同乗者の声による誤認識を防ぐため)

検索結果画面の操作のしかた

音声認識で施設を検索すると、下記のような検索結果画面が表示されます。
音声またはタッチ操作してください。



■施設の詳細情報を聞く

3番の詳細情報

- 施設名称・住所・情報が案内されます。
- 番号で選択してください。(詳細情報を聞く施設は、名称では選択できません。)

■次の候補に切り換える

次のページ

- 次の候補を3件表示します。

■タッチ操作するには

リストから施設を選び、決定を選び

- 現在地から選んだ施設までのルートを探索します。
- 詳細: 施設の詳細情報を表示

お知らせ

- 検索結果画面をタッチ操作すると、音声認識は終了します。以降の操作はタッチで行ってください。

枠(通常は緑で表示)

